

イベント・催し

「みんなで力を合わせ笑顔あふれるまちづくり」 第18回木のくにときがわまつりを開催します

商工観光課 ☎65-1584

イキオヨ！ くむんだーワークショップ

日本の伝統的な木造建築のように、柱と横材とを組み合わせ、木づちを使いながらクサビを打ち込み組み立てる木製ジャングルジム「くむんだー」を体験するワークショップです。ジャングルジムで遊ぶというより、組み立てる過程、解く過程から木や建築技術を楽しく学ぶことができます。

産業祭

11月5日(日)
9時～14時30分

- ・稲荷神社ささら獅子舞(狐つり)
- ・馬とのふれあい・記念撮影、物販(ホースケアガーデン)
- ・商工業者の出店、展示販売
- ・農林産物生産者による農林産物直売
- ・生活改善グループ団体による加工品の即売
- ・各種団体による出店
- ・総額40万円相当の「景品・お買物券」が当たるスタンプラリーによるお楽しみ抽選会
- ・リサイクルフリーマーケット
- ・健康福祉コーナー(保健センター関係団体による出展)

会場 体育センターとその周辺

木のくにとまつり

11月5日(日)
9時～14時30分

- 木の文化の発信をひとつの川の流として紹介
- 【源流】 林業の機械や資材の展示・販売 丸太切り実演
- 【上流】 木製品の展示・販売、パネル展示
- 【中流】 木工品の展示・販売
- 【下流】 体験・実演 くむんだーワークショップ

会場 体育センターとその周辺

文化祭

発表の部
11月5日(日)
9時～13時30分

文化協会加盟団体、公民館活動団体及び一般応募者による舞台発表

会場 体育センター内

展示の部

11月3日(金・初)～11月4日(土)
9時～17時

文化協会加盟団体、公民館活動団体、学童保育所、保育園児や小・中学生の作品及び一般応募者などによる作品展示

会場 体育センター内

↓ 11月4日(土)、5日(日)にときがわ町路線バスで会場にお越しになる際、及びお帰りの際にご利用いただけます。

第18回 木のくにときがわまつり



ドームくん

第18回 木のくにときがわまつり実行委員会
ときがわ町路線バス乗車券
詳しくは裏面をご覧ください



ドームくん

第18回 木のくにときがわまつり実行委員会
ときがわ町路線バス乗車券
詳しくは裏面をご覧ください



ドームくん

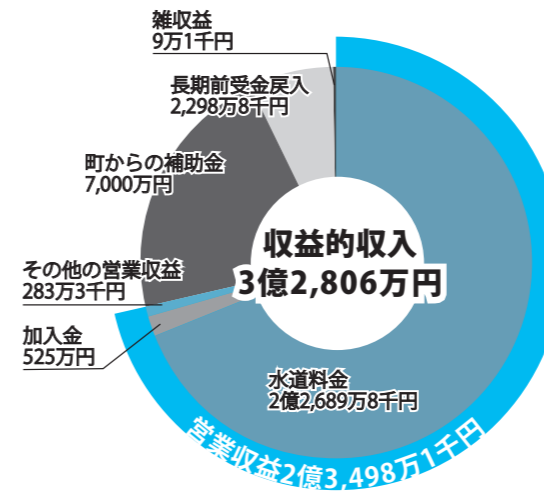
第18回 木のくにときがわまつり実行委員会
ときがわ町路線バス乗車券
詳しくは裏面をご覧ください

令和4年度

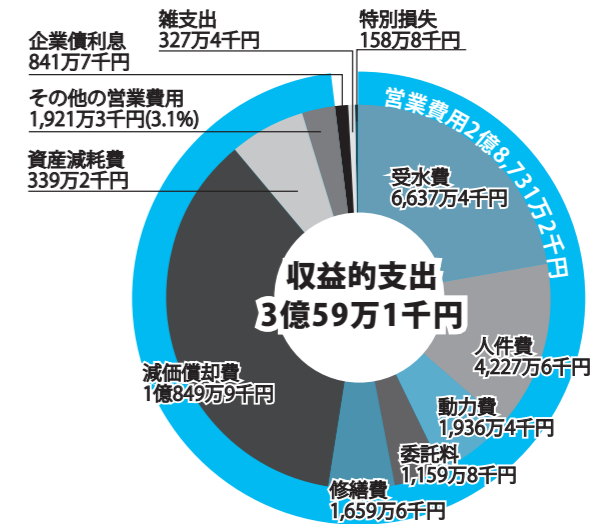
水道事業決算

収益的収支 (税抜)

水道水を作り、ご家庭や事業所に送るための収支



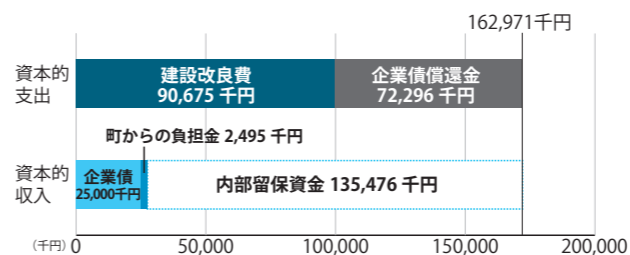
令和4年度における総収入は、前年度から2,223万4千円増の3億2,806万円、総支出は前年度から457万2千円増の3億59万1千円となりました。



本業である営業収益と営業費用を比較すると、5,233万1千円の営業損失(赤字)となりました。令和4年度中の料金改定や、営業外収益として町からの補助金7,000万円を繰り入れることで、当年度純利益は前年度から1,766万2千円増の2,746万9千円となりましたが、依然として厳しい経営状況にあります。

資本的収支 (税抜)

施設を整備・更新するための収支



資本的支出は、建設改良費と企業債償還金で1億6,297万1千円となり、資本的収入の総額は2,749万5千円となりました。これに伴う資本的収支不足額1億3,547万6千円は、内部留保資金*で補てんしました。

*内部留保資金とは、企業内に蓄えられる自己資金のことです。収益的支出のうち、減価償却費、資産減耗費など現金支出を伴わない支出や、収益的収支における利益が、企業内に内部留保資金として蓄えられます。資本的収支不足額は、この内部留保資金などで補てんされる仕組みになっています。

業務量

- ◆ 給水人口 10,185人 (令和5年3月31日現在)
- ◆ 年間総配水量 1,508,742m³
- ◆ 供給単価 187.8円 (1m³あたりの販売価格)
- ◆ 給水件数 4,632件 (令和5年3月31日現在)
- ◆ 1日平均配水量 4,134m³
- ◆ 1人1日平均配水量 406ℓ
- ◆ 給水原価 228.5円 (1m³あたりの生産価格)